

算数科学習指導略案

氏名	1年担当教員
実施日時・学年クラス・場所	令和2年9月24日 3校時 ・ 第1学年3組 ・ 教室
単元名	3つのかずのけいさん
本時の目標・評価	3つの数の加減混合の式の意味を理解し、1つの式に表し、答えを求めることができる。(評価) 観察、ノート【知識・技能】
授業の視点	ブロックを操作したり、式に印を書いたりして計算することは、3つの数の計算の仕方を理解し、答えを求める手立てとして有効であったか。

本時の展開 (3 / 3)

過程	学習内容		時間
	学習活動	指導上の留意点	
つかむ	1 問題を捉え、本時のめあてを設定する。	○ 前時の振り返りを簡単に行った後、本時の問題を紹介する。	10
	<p>問題</p> <p>ねこが5ひきのっています。3ひきおりました。4ひきのります。ねこは、なんびきに なりましたか。1つのしきにかきましょう。</p> <p>・「おりる」「のる」がある。 ・たし算とひき算がまざっている。</p> <p>めあて たしざんとひきざんが まざっても、1つのしきでけいさんできるか たしかめよう。</p>	○ 問題文から、前時までの相違点に気づくことができるようにする。	
見通す	2 見通しをもつ。 ・ブロックを使う。 ・2つの数のたし算とひき算を使う。	○ 教室の掲示や前時までのノートを手がかりに、問題を解決するための見通しをもつ。 R 1文ずつの絵を用意し、絵と文を関連付けしたり、「おりる」と「のる」で板書の色分けをしたりして、場面の様子をつかませることで、個人思考にスムーズに向かうようにする。	5
解決する	3 個人思考をする。 ↓ ペア交流し、確かめる。 ↓ 全体で計算の仕方を確認する。	○ (つまずいている児童) ・立式→ねこがバスに乗り降りする様子を実際に操作。 ・計算→ブロックを一緒に操作。 ○ (解決できた児童) ・別の考え方を書いたり友達に分かりやすい説明の方法を考えたりするよう促す。 R 「まず」「つぎに」を使うように促し、順序を表す言葉を正しく使うことができるようにする。	15
まとめる	4 まとめをする。	○ 全体で確認した考えの中にあるキーワードを組み合わせ、めあてに対応したまとめとなるようにする。	5
	<p>まとめ たしざんとひきざんが まざっても 1つのしきで けいさんできる。</p> $\begin{array}{r} 5-3+4=6 \\ \underline{\quad} \\ 2 \end{array}$		
伸ばす	5 計算の練習をする。 ① $6-2+4$ (減加) ② $5+3-1$ (加減) ③ $2+2+2+2$ (4つの数の計算)	○ (つまずいている児童) ・計算の仕方を確認しながら、一緒に取り組んでみる。(解決できた児童) ・チャレンジ問題に挑戦する。 ○ ③の問題ができていない児童を指名し、計算の仕方を確認する。その際、まとめを再確認し、数が増えてもやり方は変わらないことをおさえる。	10
	6 本時の学習を振り返り、次時への見通しをもつ。	○ ふりかえりを発表することで、めあての達成度を確認できるようにする。	

書く活動における具体的な手立て

- 1 個人思考で書くための見通し
 - ・どのような方法がありそうか→既習事項の確認（方法の見通し）。
- 2 個人思考での書き方（自分パワーを高める）
 - ・書き方の工夫→式に線を引く。途中の答えを書く。
 - ・解決できた子ども→2つ目の方法、3つ目の方法にも挑戦。
- 3 書いたことを生かした、ペア交流（友達パワーでパワーアップ）
 - ・指をさしながら友達に説明する。
 - ・聞く方は頷いたり、言葉をかけたりしながら聞く。（話しやすい聞き方）
「オッケー」「なるほど」「すごい」「ここまでは、わかったけど・・・」「もう一回教えて」
 - ・自分が考えつかなかった方法→真似して書いてみる。（追記）
- 4 ふりかえり
 - ・わかったことやがんばったことを共有し、次時への意欲を持つ。

板書計画

<p>問題 ねこは、なんびきに なりましたか。1つのしきにかきましょう。</p>	<p>めあて たしさんとひきさんが まざっても、1つのしきでけいさんできるか たしかめよう。</p>											
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 25%;">ねこが5ひきのつています。</td> <td style="padding: 5px; width: 25%;">しき 5</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 50%;">見通し ・ブロックをつかう。</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">3びきおりました。</td> <td style="padding: 5px;">5-3</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 50%;">考え</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 50%;">考え</td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">4ひきのります。</td> <td style="padding: 5px;">5-3+4</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>まとめ たしさんとひきさんが まざっても 1つのしきでけいさんできる。</p> $\frac{5-3+4}{2}=6$ </td> </tr> </table>	ねこが5ひきのつています。	しき 5	見通し ・ブロックをつかう。	3びきおりました。	5-3	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 50%;">考え</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 50%;">考え</td> </tr> </table>	考え	考え	4ひきのります。	5-3+4	<p>まとめ たしさんとひきさんが まざっても 1つのしきでけいさんできる。</p> $\frac{5-3+4}{2}=6$	
ねこが5ひきのつています。	しき 5	見通し ・ブロックをつかう。										
3びきおりました。	5-3	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 50%;">考え</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 50%;">考え</td> </tr> </table>	考え	考え								
考え	考え											
4ひきのります。	5-3+4	<p>まとめ たしさんとひきさんが まざっても 1つのしきでけいさんできる。</p> $\frac{5-3+4}{2}=6$										

指導計画

時	学習活動	評価の観点		
		知技	思判表	態度
1	①P. 51の絵を見て、式を考える。 ② 3つの数の加法の場面を1つの式に表す。 ③ 2つの数の加法計算を基にして、3つの数の加法計算の仕方を考え、計算する。 ④場面を1つの式に表すよさを確認する。	○		○
2	①P. 53の絵を見て、式を考える。 ② 3つの数の減法の場面を1つの式に表す。 ③ 2つの数の減法計算を基にして、3つの数の減法計算の仕方考え、計算する。 ④減法の式も、3つの数の計算を1つの式に表せることを確認する。	○		
3	①P. 54の絵を見て式を考え、解決する。 ② 3つの数の加減混合計算の場面を1つの式に表す。 ③ 3つの数の加減混合計算の仕方考え、計算する。 ④ 4つの数の加減計算をする。	○		